

下したさまにふしたりしたと云ふ。さもあるべき事こともや

早はや苗なえとる 手てもとや昔むかししのぶ摺すり

月の輪りんの渡わたしを越こて、瀬せの上うへと云宿しゆくに出いづ。

一般

段級

【奥の細道】

下したになつてゐるということだ。そういうこともあるだろうなと思った。「しのぶ摺」として知られる染物の技術は今はずたれてしまつたが、早苗を摘み取る早乙女たちの手つきに、わずかにその昔の面影が偲おもばれるようだ。月の輪の渡しを越えて瀬上せがみという宿駅しゆくに出た。

